

新型炉シンポジウム 2026

新型炉の国内外開発状況と将来ビジョン

2026 年 8 月 7 日（金） 15:20～18:00（受付開始 15:00）

東海大学湘南キャンパス 16 号館 5 階 503 教室

（東海大学国際原子力研究所主催 日本原子力学会 新型炉部会共催）

ねらい

地政学的リスクの増大とエネルギー供給の不安定化に直面する現在、高速炉やガス炉といった新型炉は、単なる次世代技術を超えた「戦略的ソリューション」として位置づけられています。温室効果ガスを国際的に大規模に削減する低炭素社会の構築を志向するためには原子力発電技術の利用を避けることはできず、新型炉はそれを長期にわたって可能ならしめる実効的かつ現実的な技術と考えられます。

新型炉部会は、第 4 世代原子炉および将来の原子力エネルギーシステムならびに周辺核燃料関連技術に関する研究活動を支援し、その開発発展に貢献することを目的としています。今般、新型炉関連の研究・技術開発に関する理解を促進するとともに、新型炉開発がもたらす将来ビジョンを共有するため、高速炉や高温ガス炉といった新型炉の国内外動向を紹介する「新型炉シンポジウム 2026」を開催することとしました。また、そのなかで、2050 年以降の我が国の原子力技術を担う学生や若手研究者・技術者と共に、2050 年の日常を描いたビジョンについてパネルディスカッションを実施します。

プログラム

コーディネータ：東海大学教授 堺 公明

1. 開会の挨拶

15:20～ 新型炉部会部会長 山野秀将（日本原子力研究開発機構）

2. 講演

15:30～ 「新型炉の国外開発状況」 大高雅彦（日本原子力研究開発機構）

15:50～ 「高温ガス冷却炉の国内開発状況」 深谷裕司（日本原子力研究開発機構）

16:10～ 「ナトリウム冷却高速炉の国内開発状況」 江沼康弘（日本原子力研究開発機構）

3. パネルディスカッション

16:30～ 「新型炉がもたらす 2050 年の日常を描いたビジョン」

4. 閉会の挨拶

16:55～ 新型炉部会副部会長 碓井 志典（三菱重工業株式会社）

5. 意見交換会 17:00～18:00（19:00 まで延長可能）

※演題と講演者は変更の可能性があります。

言語：日本語

定員：180 名

シンポジウム参加費：無料

意見交換会参加費：1,000 円（税込）

学生 無料

(事前申込みの上で、当日現金でお支払(領収書発行)をお願い致します)
申込期限：2026 年 7 月 20 日
申込は①Microsoft フォームか②メールでお願いします。
申込方法①：以下 URL から申し込みください

<https://forms.cloud.microsoft/r/SRq2jc87XJ>

申込方法②：goto.shoji@jaea.go.jp に下記を連絡願います。
ご不明の点がある場合も、下記にご連絡を頂きたいです。

- 1)氏名 (ふりがな)
 - 2)所属
 - 3)会員区分 (正、非、学生会員、学生非会員)
 - 4)連絡先 (E-mail/電話)
 - 5)意見交換会の出欠
- 担当： JAEA 後藤正治

※本会学生会員のうち、所属大学が関東圏外にある方については、参加促進の観点から、予算の範囲内で旅費を支援する場合があります。支援を希望する場合は、申込時に担当までご相談ください。なお、支援対象者数および支給額には上限があり、希望者多数の場合は部会にて調整いたします。
※講演資料を 8/5 までにメールで送付するので、当日は資料を配布しません。



最寄り駅からのアクセス

- 小田急線 (新宿より快速急行約 60 分、小田原より約 25 分)「東海大学前」駅下車
 - ✓ 東海大学前駅南口から北門まで徒歩約 15 分
 - ✓ 東海大学前駅南口から北門まで『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス (約 5 分) で「東海大学北門」下車すぐ
 - ✓ 東海大学前駅南口から掲示門まで『平塚駅北口行』バス (約 5 分) で「東海大学 1 号館前」下車すぐ
- JR 東海道線「平塚」駅下車
 - ✓ 平塚駅北口から南門まで『秦野駅行き』バス (約 30 分) で「東海大学正門前」下車徒歩約 5 分
 - ✓ 平塚駅北口から掲示門まで『東海大学前駅南口行き』バス (約 40 分) で「東海大学 1 号館前」下車すぐ

16 号館 503 教室 北門・掲示門から徒歩 5 分、南門から徒歩 2 分

